

# 地域おこし協力隊 ひらた通信

執筆・デザイン・編集：酒田市平田地域・地域おこし協力隊 霞本 祐一朗【田沢地区拠点】

内藤 小容子【東陽地区拠点】

## 連綿と続いてきた民俗行事「虫送り」



新隊員の内藤です。6月7日、東陽地区北俣の鹿島集落で行われた「虫送り」取材させていただきました。ご協力ありがとうございました！

「虫送り」は、全国各地で行われる、稲の病害虫を追い払い、豊年を願う民俗行事。鹿島では、集落の小学生たち3人が、<sup>しょう</sup>鉦と太鼓を交互に打ち鳴らし、「稲虫ゃ送りや」というかけ声とともに、ショウブの花で飾ったタラノキの枝をたたきつけながら練り歩きます。最初は恥ずかしがりながらも、立派に役目を果たしていました。

農業などで病害虫を防ぐようになるはるか昔から続いてきた「虫送り」ですが、東陽地区では、現在でも行っている集落はほとんど残っていないようです。自然への畏敬の念とともに、この先も永く続いていってほしいと思いました。

より詳しい内容は「酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】」のFacebookページからご覧いただけます。動画も掲載しました！

### ひらたの生きもの歳時記

○サシバ（5月25日に遭遇）



里山を象徴する鷹（タカ）の仲間。春に東南アジアなどから日本へ渡り、子育てをする。田んぼでカエルなどの小動物を捕まえて食べる。鳴き声は「ピックイー」。

○チョウゲンボウ（6月9日に巣立ち確認）



小型のハヤブサの仲間。樹木の洞などで子育てをするが、人工物を利用することも多い。小鳥やカエル、昆虫などを捕まえて食べる。鳴き声は「キィキィキィキィ」。

○ゲンジボタル（6月10日に初確認）



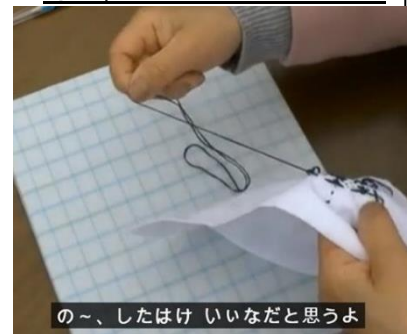
幼虫は年中涸れない冷たい清流でカワニナ（巻貝）を食べて育つ。<sup>さなぎ</sup>蛹になる土手が必要で、産卵場所は湿った苔の上。ハイケボタルより早く発生し、光が強い。

### 「庄内さしこマスク」の動画に

字幕をつけました

5月11日に公開した動画「布マスクに“庄内さしこ”で想いを込めて」に、庄内弁と英語で字幕をつけました。

YouTubeの「設定」（歯車のアイコン）→「字幕」で、「日本語」か「英語」を選択するとご覧いただけます。



### 生きもの調査イベントを企画中

平田の自然を地域の方々により身近に感じていただくため、子ども達を主な対象に、生きもの調査イベントを開催したいと考えています。初回開催場所は中野俣川沿いの田んぼの水路で検討中です。

詳細が決まり次第、追って広報いたしますので、どうぞお楽しみに！

## 地域おこし協力隊とは何でしょうか？

霞本です。先日、やまもと農村交流センターで、平田ボランティア連絡協議会総会の席上で、平田地域の協力隊2人が、地域おこし協力隊とは何かをテーマに発表させていただきました。貴重な機会をいただき感謝いたします。

着任してから2年間3ヶ月、地域おこし協力隊活動の内容や私の考える地域おこし協力隊について、お話ししました。私にとっても地域おこし協力隊とは何かと、改めて見つめ直す良いキッカケになりました。一つだけ言えることは、協力隊活動に明確な答えはないということです。庄内にいる地域おこし協力隊10人あまりの活動はそれぞれです。声援を送っていただけだけでも活動の励みになりますので、声を掛けてもらおうと嬉しいです。

また早いもので、私も任期が残り9ヶ月となりました。皆さまと協力して地域を元気にしていきたいと思います。



活動報告会の様子



旧阿部家で撮った一枚

## 7月は動画撮影と編集を行います

先日、旧阿部家で動画撮影を行いました。とても古風で魅力的だと改めて認識しました。これからも訪問して記録に残していきます。

7月は、田沢の風景や催しの撮影と動画編集を中心に行いたいと考えています。8月以降に大きなプロジェクトを立ち上げる予定です。その事前準備として風景の撮影など取り組んでいきます。他にも、毎週火曜日に行われている、たざわ健康クラブなど記録に残していきたいと考えています。

### ■かすみのひとりごと（編集後記に代えて）

先日、YouTubeで新しい動画を制作したいな～と思い田沢地区で活動していた能美先輩に相談しました。その際、話に出たのが、有名な焼き麩のこと。右にある画像は、楯山地区にある、阿蘇食品さんの焼き麩ピザを配信しています。この動画は、なんと能美さんが編集して作った動画だそうです。さすが、田沢人間国宝を制作した男。

私も新しいコンテンツとして田沢に残るような動画を作れるように努力します！出来たら見てくださいね。



YouTubeで「焼き麩ピザ」と検索すると見られます。美味しそうです！

